



前列左から全青  
会の池田会長、J  
PAの増田会長、  
花岡副理事長、後  
列同全青会の川  
合監事、高田副会  
長、馬場副会長、  
坂本副会長

全国鐵構工業協会 青年  
部会(略称・全青会)、会長  
池田和隆・池田鉄工社  
長)は20日、「第32回日  
本パラ陸上競技選手権大  
会」会場の駒沢オリンピッ  
ク公園総合運動場陸上競技  
場(東京都世田谷区)で、  
全国の会員の協力を得て購  
入した競技練習用車いすの  
贈呈を行った。池田会長ら  
が日本パラ陸上競技連盟

(JPA)の増田明美会長  
に現物1台と目録を手渡し  
た。  
この活動は全青会が慈善  
事業の一環として17年度か  
ら継続しているもの。全国  
の青年部会員各社で発生し  
た使用済み溶接用ノズル・  
チップ等を収集・換金し、  
その資金を基に車いすを購  
入して関係各所に寄贈する。  
過去3年間は、全国9プロ  
ックが持ち回りで  
開催する全国大会  
開催地および近隣  
の自治体、福祉施  
設等に一般的な車  
いすを贈呈してき  
たが、今年度はコ

## パラ陸上競技連盟に競技練習用車いす寄贈

全国展開の慈善活動で

コロナ禍の影響で全国大会の  
実開催中止(ウェブ開催)  
を早々に決めたため、パラ  
陸上関係者と交流があった  
九州ブロックの馬場友幸副  
会長の提案によりJPAへ  
の贈呈を決めた。  
寄贈したのはレース用車  
いすのエントリーモデルで、  
車体の両側には全青会のス  
テッカーを貼付。贈呈台数



寄贈した競技練習用車いす



車体に貼付した全青会ステッカー

「コ  
ロナ禍という厳しい環境下  
で協力を頂いた全国の会員  
に改めて感謝と敬意を表し  
たい。この事業は『全国の  
仲間がひとつの事業の達成  
に向けて団結力を養う』こ  
とも目的のひとつ。引き続  
き活動を継続し、社会に貢  
献していきたい」と話して  
いる。  
なお当日、全青会側は池  
田会長、馬場副会長のほか、  
高田知明、坂本泰雄両副会  
長、川合徳和監事の計5人  
が参加。贈呈後には場所を  
目黒駅近くの貸会議室に移  
して今後の事業運営等につ  
いて協議した。

は当初3台を予定していた  
が、全国の会員から予想を  
上回る協力が寄せられた  
ため計5台とした。  
贈呈に当たり、JPAの  
増田会長からは「パラ陸上  
競技への皆様のご理解とご  
協力に深く感謝申し上げた

い」、また花岡伸和副理事  
長からは「頂いたレース用  
車いすをより多くの人たち  
に体験してもらい、競技の  
さらなる普及につなげてい  
きたい」と感謝の言葉が寄  
せられた。

「コ  
ロナ禍という厳しい環境下  
で協力を頂いた全国の会員  
に改めて感謝と敬意を表し  
たい。この事業は『全国の  
仲間がひとつの事業の達成  
に向けて団結力を養う』こ  
とも目的のひとつ。引き続  
き活動を継続し、社会に貢  
献していきたい」と話して  
いる。